

## 〈アンケートの結果から〉

### ○成果

- ・児童アンケートの「学級活動や係活動みんなとなかよく（協力）している」では、7月のアンケート結果よりもやや肯定評価が下がっているものの9割以上の児童が肯定評価をしている。また、保護者アンケートの「学校は学級活動や係活動などを通して、子どもたち同士のあたたかい人間関係を築いている」では、7月のアンケート結果より肯定評価が増えており、高い評価をいただいている。日常の学校生活の中での指導が現れていると思われる。
- ・児童アンケートの『『だまって』『いっしょうけんめい』『すみずみまで』『きれいに』のそうじがきちんとできている』では、継続的に「だ・い・す・き」掃除の指導に取り組んでいる成果が現れている。また、保護者アンケートの「学校はいっしょうけんめい掃除に取り組むよう指導し、美しい環境や豊かな人間性を育てている」では肯定評価がおよそ90%であり、学校の取組に一定の評価をいただいている。
- ・児童アンケートの「登下校や日々の生活の中で、交通安全に気をつけている」での結果と、保護者アンケートの「学校は交通安全教室や登下校時の安全指導を適切に行い、児童の交通安全に努めている」および「学校はスクールガードや地域の方、保護者と連携し、児童の安全管理や教育に努めている」での結果では、7月のアンケート結果に続き、どちらも肯定評価が90%以上と非常に高く、スクールガードの方をはじめとする地域の方々や保護者の方々のご協力が、成果として現れている。
- ・保護者アンケートの「学校は学級通信や学年だより、メール配信など、積極的な情報発信に努めている」ではおよそ95%、地域の方対象のアンケートの「学校は学校公開日や学校だより、ホームページ、正門前の掲示板などを利用して、学校や児童の様子を積極的に情報発信している」ではおよそ97%の肯定評価をいただいている。
- ・地域の方対象のアンケートの「学校への協力や訪問には抵抗がない」では、高い肯定評価をいただいている。今年度は、行事の中止や縮小をしなければならない状況ではあるが、学校に協力しようと思ってくださる方が多くおられ、学校と地域の協力関係はしっかり深まっていると考えられる。

## ●課題と今後の取組

- ・児童アンケートの「授業では、進んで発表したり、話し合い活動に参加したりしている」の結果では肯定評価が82%で、7月から3ポイント程度下がっており、他の項目と比べて低くなっている。また、保護者アンケートの「お子さんは積極的に授業に参加している」の結果は肯定評価が84%で、7月と同様程度の評価であるが、他の項目と比べて低くなっている。新型コロナウイルス感染予防を行いながらの取組にはなるが、ペア学習やグループ学習といった学習形態を取り入れながらすべての児童が主体的に授業に参加し、主体的で対話的な深い学びができるよう、さらに授業改善に取り組んでいく。
- ・家庭学習については、児童アンケート・保護者アンケートともに、肯定評価が他の項目と比べて低い。多くの児童が宿題や自主学習に毎日取り組んでいる反面、家庭学習に課題のある児童が一定数見られる。今後も、保護者の方と協力しながら、「家庭の過ごし方ふりかえり週間」や「学習の手引き」等を活用し、家庭学習と学習習慣を身につけていくことの大切さを粘り強く指導していく。
- ・児童アンケートの「チャレンジ目標『守ろうよ 自分のための 大事なルール』をいつも意識している」の肯定評価が79%と大変低い。7月の結果から10ポイント下がっている。チャレンジ目標は、各学級や学年でも定期的にふりかえり、子どもたちが意識できるよう指導していく。
- ・あいさつについては、児童アンケートは肯定評価が91%とよく意識している児童が多い。ただし、地域の方対象のアンケートで、「児童と、よくあいさつを交わしている」の肯定評価はおよそ85%で、7月の結果から6ポイント程度下がっている。地域でもしっかりあいさつができるよう指導していく。